

〔毛吹草三〕伊勢 海老 相摸

海老ノ伊勢エビ

近江 小ノ濱海老

〔雍州府志六土產〕鰯魚 鰯有數種、淀川之所產、其形小而其鬚至長、湯煮一沸則其色如朱、兩脚屈蟠如老翁之倚杖、土人稱杖衡鰯、又自近江堅田來者稱熬鰯、其味美與勢多蠶貝爲一雙。

〔續江戸砂子〕江府名產 井近在近國

淺草川手長海老 兩國橋の少上又本所堅川横川にあり、

揚場川手長海老 牛込御門の外、吐水より下手の御堀、

八足の中二足すぐれて長し、山州淀川杖つき海老の等類也。○中

芝苗蝦 大きさ一寸にたらざる小海老也、備前筑後などより鹽辛にして出ると同じ、小毒あり、
痔便血瘡疥を發す。

芝海老 芝浦の名產也、車海老よりちいさく、全身やはらかにして甘美也、秋のすへより初冬に至りさかん也。

鎗倉蝦 上方にていふ伊勢海老也、江府は鎗倉より出ルゆへにいふ也、又伊勢海老とも云。

〔八丈物産志二〕アシナガエビ ハ形チ圖○圖ノ如クシテ、夜中網ニテ捕ル、大ヒサ六七寸ニ及ビ、島人食フニミハ多クシテ味美ナリト云。

〔和爾雅六〕蝦蛄シカバ言其行如尺蠖也、又云サクナケ、言

〔本朝食鑑九〕海無鱗石楠花蝦訓志也

釋名色如石楠花是亦石楠之略號乎、

集解狀類鰯而平、頭尾相同、有鬚有手足、比鰯則細多如切、背有細節、俱色灰白帶碧、味不爲佳、是閩書南產志所謂鰯姑、開元遺事載其名曰、狀如蜈蚣尾、如僧帽、泉人謂之青龍寶能形容之、氣味甘平無毒、人用之、療膿則性溫乎、醫